



米倉寺の本堂に、左甚五郎の作といわれる雌雄の龍がある。あるとき、この二頭が喉を潤すため、葛川に出て水を飲み、のその寺に帰ろうとすると、洗濯婆さんに出会った。

婆さんは驚きのあまり腰を抜き、しばらくは口もきけぬ有様であったそう。このことがあって、再び龍が外出しないように、二頭とも両眼を鋸でひき潰したので、その歯跡が残っているという。



0001_米倉寺



0002_米倉寺



0003_米倉寺



0004_米倉寺



0005_米倉寺



0006_米倉寺



0007_米倉寺



0008_米倉寺



0009_米倉寺



0010_米倉寺



0011_米倉寺



0012_米倉寺



0013_米倉寺



0014_米倉寺



0015_米倉寺



0016_米倉寺



0017_米倉寺



0018_米倉寺



0019_米倉寺



0020_米倉寺



0021_米倉寺



0022_米倉寺



0023_米倉寺



0024_米倉寺



0025_米倉寺



0026_米倉寺



0027_米倉寺



0028_米倉寺



0029_米倉寺



0030_米倉寺



0031_米倉寺



0032_米倉寺



0033_米倉寺



0034_米倉寺



0035_米倉寺



0036_米倉寺



0037_米倉寺



0038_米倉寺



0039_米倉寺



0040_米倉寺



0041_米倉寺



0042_米倉寺



0043_米倉寺



0044_米倉寺



0045_米倉寺



0046_米倉寺



0047_米倉寺



0048_米倉寺



0049_米倉寺



0050_米倉寺



0051_米倉寺



0052_米倉寺



0053_米倉寺



0054_米倉寺



0055_米倉寺



0056_米倉寺



0057_米倉寺



0058_米倉寺



0059_米倉寺



0060_米倉寺



0061_米倉寺



0062_米倉寺



0063_米倉寺



0064_米倉寺



0065_米倉寺



0066_米倉寺



0067_米倉寺



0068_米倉寺



0069_米倉寺



0070_米倉寺



0071_米倉寺



0072_米倉寺



0073_米倉寺



0074_米倉寺



0075_米倉寺



0076_米倉寺



0077_米倉寺



0078_米倉寺



0079_米倉寺



0080_米倉寺



0081_米倉寺



0082_米倉寺



0083_米倉寺



0084_米倉寺



0085_米倉寺



0086_米倉寺



0087_米倉寺



0088_米倉寺



0089_米倉寺



0090_米倉寺



0091_米倉寺



0092_米倉寺



0093_米倉寺



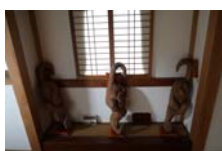
0094_米倉寺



0095_米倉寺



0096_米倉寺



0097_米倉寺



0098_米倉寺



0099_米倉寺



0100_米倉寺



0101_米倉寺



0102_米倉寺



0103_米倉寺



0104_米倉寺



0105_米倉寺



0106_米倉寺



0107_米倉寺



0108_米倉寺



0109_米倉寺



0110_米倉寺



0111_米倉寺



0112_米倉寺



0113_米倉寺



0114_米倉寺



0115_米倉寺



0116_米倉寺



0117_米倉寺



0118_米倉寺